



令和6年2月20日(火) 曇 No. 30



▲会長挨拶



▲高田会員フォーラム卓話

### 会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。

ここ数日は暖かい日が続いています。桜の花もちらほら見かける時があり、驚いております。昨日からの雨により、花粉は抑えられておりますが、例年にない量が飛び交うと報道されております。私はまだ花粉症にはなっていないと思うのですが、コップの水がこぼれるように急になると聞いております。皆様もそれぞれ対策し、健康にはご留意下さい。

さて、先日10日に行われました東播第2グループのIMにお忙しい中ご出席頂きありがとうございました。講演会をお聞きになられていかがだったでしょうか？懇親会も含めて、平成 RCらしさを全面に出したIMだったと思います。ガバナー補佐からお礼状も届いております事をお知らせします。また、1月30日から2月15日の6回に分けて開催させて頂きましたインフォーマルミーティングですが、60名の会員の皆様にご参加頂き、私と幹事を加えますと累計72名での開催となりました。長年在籍されておられる先輩方や、入会間もない会員の皆様のそれぞれの思いをお聞きする事が出来たのではないかと思います。様々な問題点、意見の相違も当然ありますが、当クラブの良さを再認識させて頂き、継承していかなければならない思いを強く感じる事ができました。また、今回は予定頂いた会員の皆様全員にご参加頂きました事を感謝申し上げます。

今月は「平和構築と紛争予防月間」です。国際奉仕委員会の皆様にご担当頂き、高田委員長の卓話をお願いしております。どのジャンルの思想からの卓話になるのか楽しみにしております。以上で「会長の時間」とさせて頂きます。本日も最後まで宜しくお願い致します。



## 出席委員会

☆ 今 週 会員数 75 名 出席 45 名 出席免除 13 名 欠席 17 名  
☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 75 名 出席 54 名 出席免除 12 名 欠席 9 名  
☆ メークアップ 加古川平成 RC 2/14 原田、畑、木下、中田

## 親睦活動委員会

例会場当番

2月27日(火) 森田、桑田純

3月 5日(火) 大辻、前川容



## プログラム委員会

本日2月20日(火)	2月27日(火)	3月5日(火)	3月12日(火)
フォーラム 高田国際奉仕 委員長担当	卓話 「やまとたけると うまやとのおうじ」 DVD鑑賞 前川容担当	新会員自己紹介 前田担当	クラブ協議会 地区大会後

## 年間行事予定変更のお知らせ

下記のとおり年間行事予定を変更します。

### 【変更前】

4月9日(火)  
環境保全デー(環境保全担当)

→

### 【変更後】

例会変更(日時・場所変更)  
創立70周年記念式典  
4月20日(土)午後5時～  
於：加古川プラザホテル  
※環境保全デーは4月2日(火)になります。

## 2024-25年度テーマが発表されました



## インスピレーションはいたるところに

ロータリー国際大会でよく見かける光景があります。異なるクラブの2人の会員がたまたま出会い、話を始め、プロジェクトのアイデアがひらめく、というものです。

5月25日～29日にシンガポールで開かれる国際大会では、隣に立っている知らない人や食事の時に会った人と恥ずかしながらに会話を始めてみましょう。実際、ある2人の会員は、2016年国際大会(ソウル)のシャトルバス乗り場で出会い、話を始め、アフリカでのプロジェクトを計画しました。



写真提供: Brittany Anne Scott

会員からよく聞くのは、国際大会で出会った人との会話が意義あるプロジェクトにつながったという話です。これはまさに、今年の大会テーマである「世界と希望をわかちあおう」と見事に一致しています。

2012年国際大会(バンコク)での公園のペンキ塗り活動、分科会後のおしゃべり、そしてもちろん、友愛の家で出会ったという例もあります。グローバル補助金プロジェクトのアイデアを見つけるために、ほかの国に新しい友人をつくることを楽しみにしている会員もいれば、自分の国や地区から来たプロジェクトのパートナー候補者に出くわす会員もいます。

国際大会でつながりを築いた世界各地のロータリー会員たちは、さまざまな取り組みで新たなパートナーと協力しています。難民へのシェルターボックスの提供、ローターアクト多地区合同情報組織の立ち上げ、ポリオ根絶の募金のためのプラスチックキャップのリサイクルなどです。

トイレ建設のためにインドのクラブとグローバル補助金を実施したジョージアのクラブについての記事からは、国際大会のインパクトがよく伝わってきます:「すべては、2017年のロータリー国際大会(アトランタ)から始まりました」。この春、皆さんはシンガポールでどんなアイデアの種を見つけるでしょうか?

本稿は『Rotary』誌2024年2月号に掲載された記事を翻訳したものです。